

特集

2030年に30万口整備へ EV充電設備と 関連機器

電気自動車（EV）をはじめとする電動車は、地球温暖化を抑止する二酸化炭素（CO₂）の排出削減に大きな役割を果たす。その普及に不可欠となるのが充電インフラだ。国はその整備が電動車の普及と表裏一体にあるとし、利便性が高く持続可能な充電インフラ社会の構築を主導。整備計画として2030年に充電インフラ30万口の目標を掲げる。

経済産業省がまとめた充電インフラの整備状況調査によると、24年度末時点で整備されている充電器は前年度末比70%増、口数ベースで2万8000口増の約6万8000口と推計する。30分程度の短時間で充電が可能な急速充電器が約1万2000口、一般家庭にも設置できる普通充電器が約5万6000口とした。

急速充電器は高速道路のサービスエリアや自動車ディーラー、商業施設、道の駅などを中心に設置が進む。これまで普及は1口あたりの最大出力が50kW未満の製品から進んできた。これが足元では高出力化が進み同90kWタイプが大きく伸び、同150kWクラスの配置も始まっている。

最大出力1台充電時150kW EV充電サービス ENEOS（東京都千代田区）

「ENEOS Charge Plus」は最大出力が1台充電時150kW、2台同時充電時は90kW。充電量に応じた従量課金（kWh課金）請求に対応し、会員数約6万人。充電器の設置も展開し、店舗への集客と社会インフラ整備に貢献できる。



資料請求番号 12511-02802

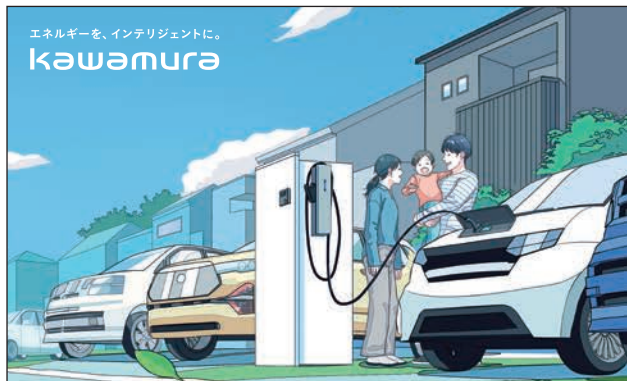
スタイリッシュなデザインが住宅外観にマッチ EV充電器 河村電器産業（愛知県瀬戸市）

「EVコンポ Mode3」は3kWおよび6kWに対応したMode3のEV充電器。付属する充電ケーブルは本体上部から出線するため地面に触れにくく、車体や利用者の足元を汚しにくい。



資料請求番号 12511-02804

エネルギーを、インテリジェントに。
kawamura



EV充電に、もっと便利と安心を。

カワムラの「EVコンポシリーズ」なら、
ライフスタイルに合わせて機器をお選びいただけます。

EVコンポシリーズラインナップ一例



EVコンポ Mode3

- 省スペースに設置OK
- 出力形式(3/6kW)を選択可能

※wayEV機能付きの製品、「α Mode3」もあります。



EVコンポ wayEV (トリプルモデル)

- 3つの充電ガンを搭載
- wayEV連携で、複数台を効率的に充電



EV普通充電用電気設備 EVコンポシリーズ
河村電器産業株式会社

www.kawamura.co.jp



資料請求番号 12511-02801

直並列の組み合わせが自在に モジュール式回生型双方向直流電源 三社電機製作所（大阪市東淀川区）

「S・Loop」は試験・評価用で直並列の組み合わせが自在にできる。最大4直列（2000V）、同12並列（2160A）で運転可能。最大接続数は12台（360kW）。研究開発や品質分析、高電圧試験設備に高精度・高速応答が威力を発揮。



資料請求番号 12511-02803

コンセント設置をフルサポート マンション向けEV充電サービス ユビ電（東京都港区）

「WeCharge」は1つの駐車スペースに1つのコンセントという戸建てと同じ充電環境をマンションにおいて実現するための調査や工事、補助金申請などをサポート。理事会や総会での合意形成も支援する。



資料請求番号 12511-02805